

経営比較分析表（令和5年度決算）

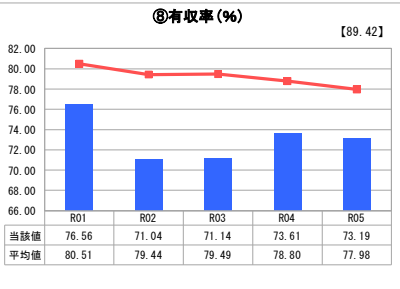
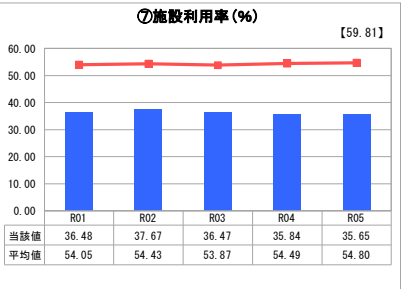
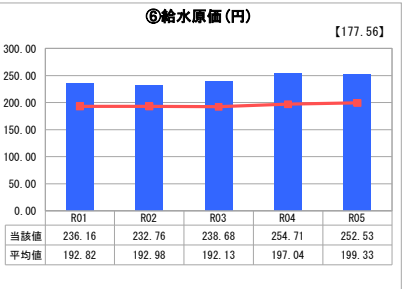
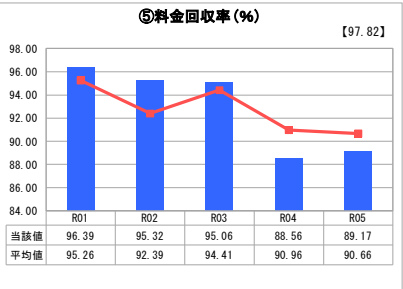
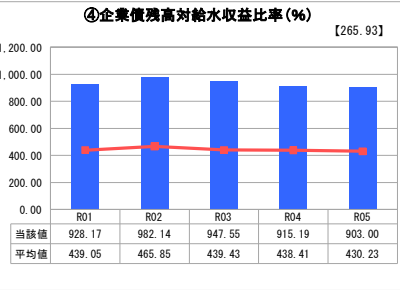
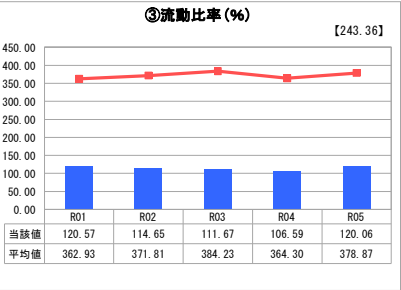
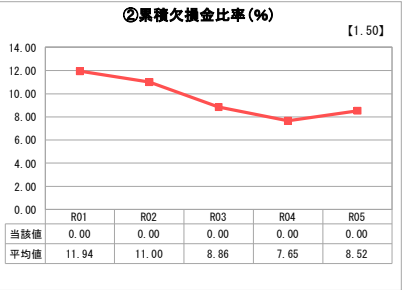
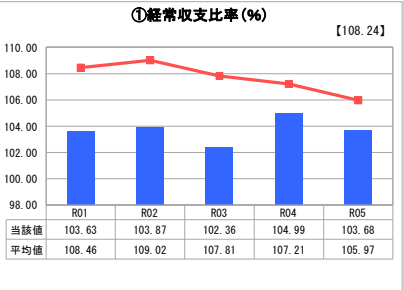
福島県 南会津町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	56.89	98.85	4,400	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,733	886.47	15.49
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,351	123.13	108.43

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

『①経常収支比率』は、単年度収支で黒字となっていますが、類似団体平均値を下回っている状況です。人口減に伴う料金収入の減少や、修繕費の増加などにより比率は減少しています。

『③流動比率』は、現金等の流動資産に大きな変動がないものの、企業債残高が減少傾向にあることから、次年度も増加すると見込まれます。

『④企業債残高対給水収益比率』や『⑦施設利用率』は、簡易水道事業と統合した影響が大きく、類似団体と比較しても大きな差があります。料金収入に対して投資の比率が大きいことが懸念されます。

『⑤料金回収率』は、水道事業会計支弁職員の見直しなど経営の見える化の影響により、令和4年度以降大きく減少しています。依然として100%を下回っていることから、料金改定も視野に入れた対策が必要と考えます。

『⑥給水原価』は地理的条件により広範囲の施設管理が必要ことから、類似団体平均値を上回っている状況です。

『⑧有収率』は、漏水調査により大規模漏水は解消したものの、共同給水管等からの漏水が多発していることから、今後とも比率は横ばい傾向にあると考えます。

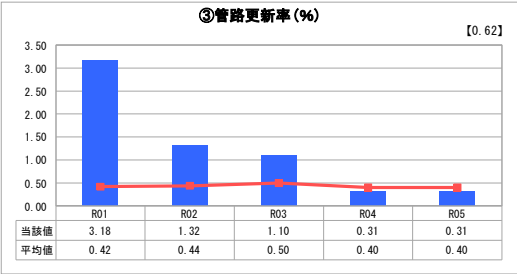
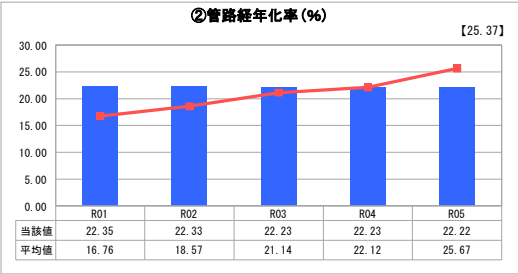
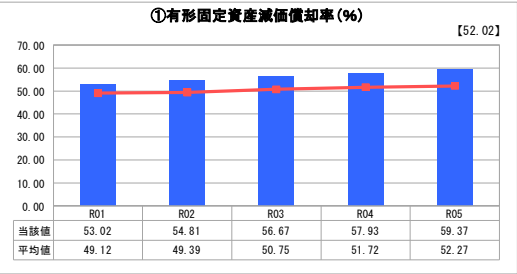
2. 老朽化の状況について

『①有形固定資産減価償却率』は、年々増加傾向にあることから、施設の老朽化が進んでいる状況です。

『②管路経年化率』は、大きな変動はなく、類似団体平均値より下回っています。

『③管路更新率』は、生活基盤耐震化等交付金を活用した管路の更新を進めており、年度毎のばらつきはあるものの、類似団体と比較しても概ね良好であると思われます。

2. 老朽化の状況



全体総括

人口減少に伴う水需要減少に加え、老朽施設の更新需要増大が見込まれる厳しい経営環境にあります。

将来にわたり安全で強靱な水道を持続していくため、令和5年度に水道ビジョンを策定し、固定資産の最適化や企業債の平準化など、長期的かつ計画的な経営改善に努めています。

今後の経営環境の改善に向け、料金改定を視野に入れた対策が必要と考えます。